

様式 1

令和 3 年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書の採択に係る答申

安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

教科名	特別の教科 道徳
第 1 推薦	2 東書
第 2 推薦	3 8 光村

(特別の教科 道徳) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
2 東書	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションのタイトルは、「道徳の授業はこんな時間に」とし、巻頭折り込み 3 ページに、学習の流れを示している。また、巻頭折り込み 1 ページで「話し合いの手引き」を示している。「1 年間で学ぶこと」とし、見開き 2 ページで 4 つの視点ごとに 1 年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。 ・発問は、教材文の終わりに「考えてみよう!」「自分を見つめよう」のコーナーにマークと共に記載し、発問を 2～3 示している。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を取り入れた工夫では、2 つの教材を配置し、教材冒頭にテーマを示している。【2 年 P129～134】 ・体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を、掲載すると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している。【3 年 P100・P101】
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・分量は、AB 版 196～204 ページある。教材数は、C が 43 教材、その他は、A21、B22、D25 と配分されている。 ・現代的な課題等を踏まえ、3 つの教材で構成されたいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を 4～5 月に設け、目次に桃色の枠囲みで示している。【1 年 P22～32】
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「話し合いの手引き」「道徳の授業はこんな時間に」と折り込みページで示している。 ・巻末には、各学年「テーマで振り返ろう」とし、6 つのテーマで教材を分類して示している。また、切り取り式のホワイトボード用紙、心情円を設けている。 ・教材の内容を理解させる工夫として、「アクション」「プラス」のマークや D マーク、教科関連マーク、心情円等のマークを設定している。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、「話し合いの手引き」を示すと共に、ショートストーリーを例に話し合いの具体的な流れを示している。【1 年 P3～6】 ・教材の中に、話し合いを促す発問を示している。【1 年 P86～87】 ・考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、心に残った教材や授業で学んでよかったこと、来期の取り組み方等を記録する、振り返りのページ「自分の学びを振り返ろう」を設けている。【3 年 P193～197】【3 回分】

17 教出	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションのタイトルは、「道徳科で学びを深めるために」とし、見開き2ページに授業でどのように学んでいくのかを4つの視点で示している。また、見開き2ページで「この教科書で学んでいくテーマ」とし、道徳科で考えていきたいテーマを7つ、教材名とともに示している。 ・発問は、冒頭の教材名の下に一つ、また、教材文の終わりに「学びの道しるべ」として、3つ示している。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。【2年P22】 ・体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを該当ページに示している。【3年P99】
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・分量は、B5版202～218ページある。教材数は、Cが43教材、その他は、A21、B20、D21と配分されている。 ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的に扱った教材といじめを許さない心の育成を間接的に支えるための教材を、コラムページを組み合わせさせているユニットを設け、体系的に配置している。【1年P40～55】
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「道徳科で学びを深めるために」を見開き2ページで示している。巻末には、各学年「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を6ページと「これからを生きるみなさんへ」を1ページ示している。 ・教材の内容を理解させる工夫として、「学びの道しるべ」、「問い」「やってみよう」等のマークを示している。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳科で学びを深めるために」の中に、話し合いの方法を示している。【1年P4、5】 ・教材文の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに、話し合いを促す発問を示している。【1年P13】 ・考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、毎時間の学習を通してためになったこと、勉強になったこと等の感想を記入する欄を設けている。【3年P190～191】【教材ごと】 ・巻末に、心に残った教材や自分が成長したと思うこと等を記入する、振り返りのページを設けている。【3回分】
38 光村	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションのタイトルは、「道徳の授業を始めよう！」とし、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目とともに「何を学ぶのか」、続く見開き2ページに、「どのように学ぶのか」を示している。 ・発問は、教材文の終わりの「考えよう」のコーナーに、マークと共に「見方を変えて」で各1～2程度示している。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材文の終わりに「てびき」を設けている。【2年P13】 ・体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。【3年P25】

	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 197～205 ページある。教材数は、C が 41 教材、その他は、A29、B27、D27 と配分されている。 現代的な課題等を踏まえ、複数の教材からなるユニット「いじめを許さない心について考える」を学年の前半に設け、目次に緑色の下線で示している。【1年 P30～41】
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、各学年「本書で学ぶ皆さんへ」を1ページ示している。巻末には、見開き2ページに各学年テーマ別教材一覧を示している。また、各学年、各分野で活躍している人のメッセージを見開き2ページで示している。 教材の内容を理解させる工夫として、「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」「深めたいむ」等のマークを設定し、問いを「・」で示している。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> 考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳の授業を始めよう！」の中に対話のポイントを示している。【1年 P8、9】 「深めたいむ」のページに、話し合いを促す発問をしている。【1年 P34～35】 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末折り込みに、毎時間の学習を通して考えたことや感じたこと等を振り返り記録する折込を設けている。 巻末に自分の将来を想像し、人生目標を年表に書く欄「人生目標年表を書こう」を設けている。【3年 P186～187】【1回分】
116 日文	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションのタイトルは、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」とし、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示すとともに、イラストや写真を使い、道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つで示している。 発問は、教材文の終わりに「考えてみよう」「自分に+1」で1つずつ示している。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習を取り入れた工夫では、目次、該当ページ、巻末にマークを付けて示し、教材文の終わりに「学習の進め方」のページを設けている。【2年 P168～173】 体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している【3年 P18・P19】
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 198 ページと別冊 42 ページ、合計 240 ページある。教材数は、C が 46 教材、その他は、A18、B20、D21 と配分されている。 現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的・間接的に扱った教材をコラム「プラットホーム」をユニット化し、年間で複数配置している。また、いじめを扱う最初のユニットに扉ページ「『いじめ』と向き合う」は、目次にオレンジ色の下線で示している。【1年 P28～49】

	<p>観点 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「この教科書で学ぶテーマ」を見開き2ページで示し、「『いじめ』と向き合う」のテーマには囲みがある。 ・巻末には、各学年、内容項目別教材一覧を示し、テーマや教科等との関連等を示している。 ・教材の内容を理解させる工夫として、「考えてみよう」、「自分に+1「プラットフォーム」、「参考」、「わたしの生き方」等のマークを設定している。
	<p>観点 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳科での学び方」の中に、学習の流れを示している。【1年P3】 ・教材文の終わりの「学習の進め方」のページに教材における話合いを促す発問を示している。【1年P26～27】 ・考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。【教材ごと】 ・別冊「道徳ノート」の巻末に、道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する、保護者の記入欄付きの振り返りのページを設けている。【3回】
<p>224 学研</p>	<p>観点 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションのタイトルは、「新しい扉を開く」とし、見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、考えを深めるステップを4つで示している。また、見開き2ページに4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。 ・発問は、教材文の終わりに「考えよう」のコーナーに、マークと共に1～2程度示している。
	<p>観点 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材文の終わりに「深めよう」のページを設けている。【2年P14、15】 ・体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。【3年P61】
	<p>観点 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分量は、AB版186～198ページある。教材数は、Cが37教材、その他は、A24、B22、D22と配分されている。 ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ防止につながる教材を選定するとともに、いじめ防止につながる特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」を設けている。【1年 P115、P153】 ・巻頭において、「いじめをなくすために」をテーマとした教材を示している。【1年 P24～27】
	<p>観点 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年の目次の前に「道徳で学ぶこと・考えること」を見開き2ページで示している。 ・巻末には、各学年「心の四季」を1ページで示し、各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。 ・教材の内容を理解させる工夫として、「考えよう」、「クローズアップ」、「クローズアッププラス」「深めよう」等のマークを設けている。

	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「新しい扉を開く」に、話し合う学習活動を提示し、「考えを深める4つのステップ」を示している。 【1年P2、3】 ・教材文の終わりの「深めよう」のページに「話し合おう」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年P15】 ・考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、授業での取組や心に残った授業等を記録する、振り返りのページを設けている。 【3年P189～195】【4回分】 ・巻末に、未来への自分に手紙を書く欄「未来への扉」を設けている。 【3年P187】【1回分】
232 廣あかつき	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションのタイトルは「自分を見つめよう」とし、見開き2ページに道徳の時間について5つの視点で示している。 ・巻末の見開き2ページ、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。 ・発問は、教材文の終わりに「学習の手がかり」というめあてとともに2～3、「考えを広げる・深める」として1～2示している。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設けている。【2年P12】 ・体験的な学習を取り入れた工夫では、体験的な学習を促す教材を掲載している。【3年P69】
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・分量は、AB版166～186ページと別冊52ページ、合計218～238ページ。教材数は、Cが36教材、その他は、A24、B21、D24と配分されている。 ・現代的な課題等を踏まえ、いじめを直接的に扱った教材とともに、教材の学びを深める特集「thinking」を設けている。【1年P41】 ・「いじめ」を様々な内容項目の学習と関連させながら考える特集ページ「いじめを許さない 私たちの心」を設けている。【1年P174～175】
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「一 道徳の時間とは一」を見開き2ページで示している。 ・巻末には、各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。 ・教材の内容を理解させる工夫として、「考える・話し合う」、「学習の手がかり」、「考えを広げる・深める」等のマークを設定している。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「自分を見つめよう一 道徳の時間とは一」の中に、話し合いのポイントを示している。【1年P2、3】 ・教材文の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年P5】 ・考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録を書く欄を設けている。 【3年P44】【3回分】 ・別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に学習の記録を書く欄を設けている。 【3年P26～43】【36回分】

233 日科	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションのタイトルは「道徳科って何を学ぶの?」とし、見開き2ページに4つの視点ごとに内容項目を、多様な考えを知るための6つの方法を示している。また、1ページに、教科書の使い方を5点示している。 ・発問は、教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」と表示し、1～3示している。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」のコーナーを設けている。【2年P15】 ・体験的な学習を取り入れた工夫では、体験的な学習を促す教材を掲載している。【3年P56・P57】
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・分量は、B5版194ページある。教材数は、Cが47教材、その他は、A20、B23、D21と配分されている。 ・現代的な課題等を踏まえ、いじめを正面から取り上げている教材と生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。 【1年P47～54、P104～107、P162～165】
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「道徳科って何を学ぶの?」を見開き2ページで示している。 ・巻末には、各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、全ての教材名を示している。 ・教材の内容を理解させる工夫として、「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」等のマークを設定している。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳科って何を学ぶの?」の中に、話合いのポイントを示している。【1年P4、5】 ・教材文の終わり「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」のコーナーに、教材おける話合いを促す発問を示している。【1年P25】 ・考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、1年間の成長を振り返るページを設けている。まとめとして「3年生の心の成長を振り返りましょう」を内容項目ごとに設けている。【3年P190】 ・巻末に、3年間の道徳の授業について振り返るページ「私の道徳記録」を設けている。【3年P191】【1回分】

